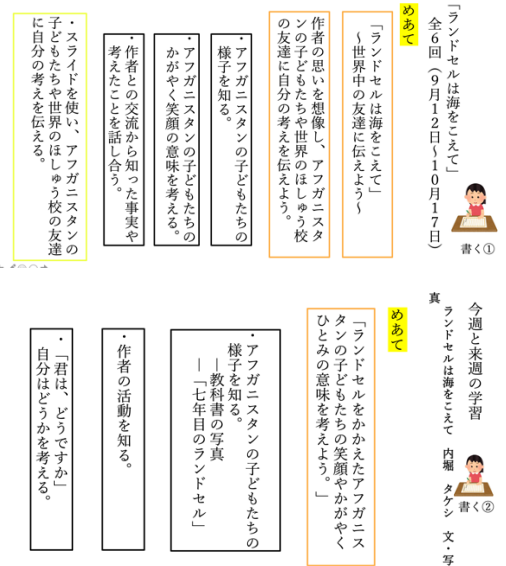
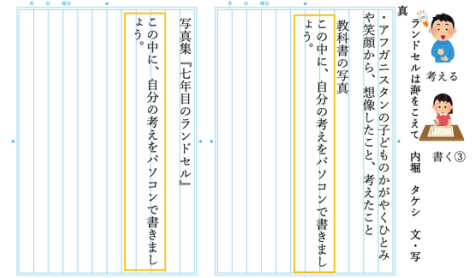


【授業実践の振り返り】 単元名： 国語（光村）「ランドセルは海を越えて」

時	内容	活動	有効であった点	改善が必要と思われる点	子ども達の反応
1	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>新聞やパンフレット、写真集から、想像したことを話し合おう。</p> <p>1.新聞とパンフレットの特色と工夫をまとめる・新聞とパンフレットの特色と分かりやすく伝えるための工夫を確かめ、相違点や同じ点を話し合う。</p> <p>・新聞記事の内容に着目する</p> <p>・見出しや写真などに着目し、記事の内容をからわかる事実と想像したことを、話し合う。</p> <p>学習課題を掴む</p> <p>《本時のめあて》</p> <p>「ランドセルを抱えたアフガニスタンの子どもたちの笑顔や輝くひとみの意味を考えてみよう。」</p> <p>① アフガニスタンの子どもたちの様子を知る。</p> <p>なぜランドセルを抱えてこんなに嬉しそうな顔を</p>	<p>新聞やパンフレット、写真集から、想像したことを話し合おう。</p> <p>1.新聞とパンフレットの特色と工夫をまとめる・新聞とパンフレットの特色と分かりやすく伝えるための工夫を確かめ、相違点や同じ点を話し合う。</p> <p>・新聞記事の内容に着目する</p> <p>・見出しや写真などに着目し、記事の内容をからわかる事実と想像したことを、話し合う。</p> <p>《本時のめあて》</p> <p>「ランドセルを抱えたアフガニスタンの子どもたちの笑顔や輝くひとみの意味を考えてみよう。」</p> <p>① アフガニスタンの子どもたちの様子を知る。</p> <p>なぜランドセルを抱えてこんなに嬉しそうな顔を</p>	<p>「発展途上国へランドセルを寄付する活動」の新聞や募集パンフレットを提示することで、既習単元「思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」「新聞を作ろう」「パンフレットを読もう」の各単元内容の復習につながった。</p>  <p>既習の戦争単元「ちいちゃんのかげおくり」「ひとつの花」から、戦時下にあるアフガニスタンの子ども達の生活を想像した。苦しい貧困の生活の中でも「アフガニスタンの子供達の瞳が輝く理由や意味」について知りたいと、興味を持たせることができ、</p> <p>「ランドセルは海をこえて」の学習目標と見通</p>	<p>ランドセルの使用経験など、ランドセルについて、各自の知識や意見を引き出す時間を持つことで、ランドセルを寄付する子供達の気持ちも想像させることができれば、さらに様々な意見交換の時間が持たように思う。</p> 	<p>新聞やパンフレットのそれぞれの特徴を話し合うだけでなく、新聞記事の内容から発展途上国の子供達の生活や教育事情など、異文化に興味を持つ姿も見られた。</p> <p>戦争単元の「ちいちゃん」や「ゆみこ」が置かれた状況が、「幸せ」とはかけ離れていたことで、アフガンの子供達の「笑顔や輝くひとみ」との対比に、強く興味や好奇心を持つこと</p>


	<p>しているのか、教材文や写真集「7年目のランドセル」を読んで考えたことをノートにまとめ、意見交換をする。</p> <p>② 作者の活動について知る</p> <p>・内堀さんが出演しているドキュメンタリーを一部視聴する。</p> <p>・写真集「七年目のランドセル」を鑑賞し、さらに疑問に思ったことや知りたいこと、心に残った写真とその理由を話し合う。</p>	<p>しを確認した。</p>  <p>「ランドセルは海をこえて」全6回（9月12日～10月17日） めあて 「ランドセルは海をこえて」 世界中の友達に伝えよう！ 作者の思いを想像し、アフガニスタンの子どもたちや世界のほしゅう校の友達に自分の考えを伝えよう。 アフガニスタンの子どもたちの様子を知る。 アフガニスタンの子どもたちがかがやく笑顔の意味を考える。 作者との交流から知った事実や考えたことを話し合う。 スライドを使い、アフガニスタンの子どもたちや世界のほしゅう校の友達に自分の考えを伝える。</p> <p>今週と来週の学習 ランドセルは海をこえて 内堀 タケシ 文・写 書く② めあて 「ランドセルをかかえたアフガニスタンの子どもたちの笑顔やかがやくひとみの意味を考えよう。」 アフガニスタンの子どもたちの様子を知る。 「教科書の写真 ——「七年目のランドセル」 作者の活動を知る。 「君は、どうですか」 自分はどうかを考える。</p>	<p>作者はなぜ、「君はどうですか」と問いかけをしたのか、作者の意図にも着目し話し合うこともできたら、さらに深く考えることができたとと思う。</p>	<p>ができたようである。</p> <p>作者の新写真集「7年目のランドセル」の本を紹介し、教科書の「ランドセルは海をこえて」と見比べたことで、作者の活動自体にも興味を持って、文中の「君は、どうですか」の問いかけに対する答えを考えることができた。</p>
<p>家庭学習</p>	<p>授業で学んだことや考えたことをスライドに記録する。</p>  <p>写真集「七年目のランドセル」 この中に、自分の考えをパソコンで書きましよう。 教科書の写真 この中に、自分の考えをパソコンで書きましよう。 「ランドセルは海をこえて」内堀 タケシ 文・写 考える 書く③ アフガニスタンの子どもたちがかがやくひとみや笑顔から、想像したこと、考えたこと 教科書の写真 この中に、自分の考えをパソコンで書きましよう。</p>	<p>保護者へ、授業の進め方や家庭学習など、具体的な授業計画を事前に知らせ説明をしていたため、どの家庭からも協力を得ることができた。</p>		<p>授業中にとったノートを元に、スライドに自分の考えを書き込むことで、授業で学習したことを整理し復習する習慣が身についたようだ。</p>

教材文の「問	《本時のめあて》	情報整理の活動として既習単元「メモの取り方」の確	シェアスクリーンの操作に初	
--------	----------	--------------------------	---------------	--

<p>2</p>	<p>い)について、 自分の体験を もとに話し合 う。</p>	<p>「君は、どうですか」の自分の考えを 話し合おう</p> <p>① 今後の学習活動を確認。 ・前週のスライドを発表し合い、学習の 振り返りと今後の学習の見通しを持 つ。</p> <p>② 本文の読み取り ・作者がなぜ10年以上もこの活動を 続けているのか、読者に伝えたいことを 考える手立として、本文や写真から アフガニスタンの子どもたちの生活や 学校の様子、ランドセルが持つ意味 について考える。</p> <p>② 作者の問いかけ「君は、どうす か」について自分の考えを、シェア スクリーンで発表し合う。友達 の考えから自分の考えを深め る。</p>	<p>認し、友達の発表で大切だと思うところをノートにメモ し、自分の考えと比べたり、参考にしたりと既習事項を 活用することができた。</p>  <p>事実と自分の意見を分けて構成し、整理して発表し ようとする努力や工夫が見られた。</p>  <p>毎時間、友達の意見を知ることで、異なる視点からの 考えに触れ、共感したり刺激を受けたりと良い相乗効 果が現れた。</p>	<p>回は少々時間を取られる こともあった。徐々に操作も 慣れて切り替えが速くなっ てきた。</p> <p>ネット環境によって音声 聞こえづらかったり、画像が 出せない場合もあるので、 子ども達が落ち着いて対処 できるように事前指導が必 要だと感じた。</p>	<p>鉛筆で文字を書く作業に苦手意 識のある児童も、コンピューターに 打ち込む作業は積極的に取り組 むことができていた。</p>  <p>スライドをノートの代わりに学習内 容や、授業の感想を記録するこ とで自分の考えの変容を視覚化で き、それをさらにクラスで共有する ことで良い学習循環が生まれた。</p>
----------	---	--	---	--	--

家庭学習	<p>「ランドセルは海をこえて」音読</p> <p>授業で話し合った内容を振り返り</p> <p>「君は、どうですか」に対する自分の考えを深めスライドに記録する。</p>	<p>今回の宿題</p> <p>一、音読「ランドセルは海をこえて」</p> <p>二、今回の授業で学習したことを書くこと</p> <p>★「9月19日の学習」をスライドにまとめよう</p> <p>三、自分の考えを深めよう</p> <p>① アフガニスタンの子どもたちのひとみや、笑顔が、かやいている理由</p> <p>② 「君は、どうですか。」の自分の考え</p> <p>★今回の授業で学習したことや、友達のことを聞いて、自分の考えはどう変わりましたか。変わったところをうがうしてスライドに書きましよう。</p> <p>★先生が用意したスライドではなく、自分自由スライドにエッセイを書いて、スライドを作ってみよう。</p> <p>★先生が用意したスライドではなく、自分自由スライドにエッセイを書いて、スライドを作ってみよう。</p> <p>★先生が用意したスライドではなく、自分自由スライドにエッセイを書いて、スライドを作ってみよう。</p> <p>★先生が用意したスライドではなく、自分自由スライドにエッセイを書いて、スライドを作ってみよう。</p>		

3	<p>作者へのインタビューを通し</p> <p>自分の意見を明確に伝え、新たな課題を見つける。</p>	<p>《本時のめあて》</p> <p>作者との交流会を通して、自分の考えを深めよう</p> <p>① 今までの学習を発表する。</p> <p>・積み重ねてきた学習について。</p> <p>・「君は、どうですか」の問いに対する自分の考えを伝える。</p> <p>・この活動の目的について考えた自分の意見などを発表する。</p>	<p>「ランドセルは海をこえて」</p> <p>「気になったこと・もっと知りたいこと」</p> <p>戦争の中での生活</p> <p>アフガニスタンの子どもたちは、戦争の中でどんな生活をしているのかも知りたいのか。</p> <p>・なぜ、建物（学校など）がないのか。</p> <p>・なぜ子どもたちははたらいでいるのか。</p> <p>・なぜ学校に行けない子どもがいるのか。</p> <p>しあわせゆたかさ</p> <p>ほかの人はなぜアフガニスタンを助けられないのか。</p> <p>わたしたちだけ、こんな生活をしていいのか。</p> <p>食料、インフラ、住む場所、学校</p> <p>物が無い</p> <p>わたしたちがアフガニスタンの生活したら、幸せに思わないと思う。でも、幸せに思アフガニスタンの人たちがいたら、幸せな生活。</p> <p>アフガニスタンの人々の幸せって何？</p> <p>なぜ子どもたちの笑顔はこんなにかがやいているの？</p>	<p>インタビューの仕方や、敬語の使い方など、実践の機会と考えたが、「自由に率直な意見が欲しい」との理由で</p> <p>作者が、敬語を望まれなかったため、大変ラフな交流会となった。</p>	<p>教科書に掲載されていない30枚の写真から、好きな写真を一枚選び、選んだ理由を発表。その写真を撮影した際の状況や被写体について作者が説明。</p> <p>現場での体験を交えての</p>
---	---	--	--	---	--

	<p>② 写真ディスカッション</p> <p>③ 作者への質問コーナー</p> <p>・さらに疑問に思ったことやもっと知りたいことを質問する。</p> <p>④ まとめ</p> <p>・交流会で新たに知ったことや学んだこと、考えたことをスライドに記録する。</p>		<p>子ども達は最後まで楽しく取り組んでいたが、1時間の交流活動が、少々予定時間を延長してしまった。</p>	<p>貴重な話に子ども達も熱心に聞いたり質問したり有意義な時間となった。</p>
家庭学習	<p>内堀さんとの交流会で学んだこと考えた事をスライドに記録しよう。</p>			

4	<p>スピーチの工夫や構成を考える</p>	<p>《本時のめあて》</p> <p>学んだことをわかりやすく伝える説明の仕方や構成を工夫しよう</p> <p>作者と交流会を通して学んだことを整理する。</p> <p>① 事実をまとめる</p> <p>・教材文、写真集、作者との交流会から得た情報か</p>	<p>「世界中の補習校の友達に、学んだことや考えたことを知らせよう」を目標に、対象者が明確であることから、より「わかりやすく伝える」ことを意識して、どの子も熱心に練習していた。</p>	<p>既習単元「新聞を作ろう」「要約するとき」「パンフレットを読もう」で学んだことを基に、多くの情報を要約したり、内容を整理したり、分かりやすく伝</p>
---	-----------------------	---	--	---

える工夫を、再確認でき  
た。

P.113  
ランドセルは海をこえて 内堀 タケシ 文・写真  
10月3日(土) みんなの考え

・笑顔があるから幸せだとは思ってんだけど、まずしいのになぜ幸せなのかは、分からない。  
・戦争しようたいだから、100%幸せではない。  
・生活がいへんだから、幸せじゃない。  
・わたしたちにとつたら幸せに思えない生活。でも、アフガニスタンの人たちにとつたら、幸せ。  
・戦争の中で、まだ命がある、まだ学校に行ける、まだ家族がいる、まだ未来があると考えると、幸せ。  
・幸せな人もいれば幸せでない人もいる。一人一人ちがう。家族と一緒にいれる幸せは同じ。  
内堀さんに話を聞いた後の考え  
・戦争しようたいだから、100%幸せじゃないけど、わたしはちがう、心の幸がある。  
・命があつて、未来の希望があつて、優しい人がまわりにいることが幸せ。  
・自分よりも他の人のことを考えるから幸せ。  
・家族がいる、助け合つている、人を大切にしている。  
・アフガニスタンの人は、まずしくない。  
・生活は豊かじゃないけど、心は豊か。  
心の豊かさ  
★わたしたちは、心の豊かさがある？  
★アフガニスタンの人々から、教えてもらった大切なことって何？  
★わたしは、どんな人になりたい？そのために、今からできることは何？

P.113  
ランドセルは海をこえて 内堀 タケシ 文・写真  
10月3日(土) みんなの考え

・アフガニスタンの人たちのやさしさや生きるむずかしさ。  
・アフガニスタンに行つてみたいと分らないことがたくさんあるということ。  
・ニュースだけでは分からないことがある。内堀さんは、じつさにアフガニスタンに行つたとき、平和な生活もあることが分かった。  
・アフガニスタンの子どもたちは、まずしいから、食べ物があつたら自分だけで食べると思つていただけ、本当はみんな他の人に助けられているのを知っているから、食べ物を分け合つということ。  
考えたこと、深めた自分の考え  
・友達や人に好きになつてもらうことや人を助ける気持ちやしんらいすることは、お金では買えない。  
・アフガニスタンの人たちは、自分ごとだけでなく、みんなのことも考えている。でもまだ戦争があるのが、悲しい。  
・アメリカで車がパンクしたら、お金をはらつて、しゅうりうの人に頼ってもらう。でも、アフガニスタンは、知らない人どうしでお金をもらわないで助け合う。  
・アフガニスタンの人たちは、ぜつたい人をうらぎらない。  
・自分のことだけでなく、いつも家族のことを考えている。  
・私たちがアフガニスタンの子どもたちの幸せは、家族といふ生きていくのは一人ではない。協力したら、できることがたくさんある。  
・アフガニスタンは、まだ戦争中なのを思い知らされた。アフガニスタンの人たちは、命がいつなくなるか分からないから、助け合つて生きるが大切だと思つている。  
・アフガニスタンの人たちは、心がゆたか。

ら、伝えたい事実を取り上げて、文章にまとめる。  
② 自分の意見や考えなど、そう考えた理由  
を添えて文章を構成する。  
・知った事実から、考えたことを整理し、文や写真など  
を使って、まとめる。学んだことや考えたことをス  
ライドに記録する。

家庭学習

発表の練習

「ランドセルは海をこえて」  
10月3日(土)のしゅくだい  
今までの学習や作者との交流会を通して学んだことを整理して、事実と意見を分けてスライドにまとめてみよう  
スライド発表(3~5分)  
① 事実をまとめる(家へ戻るとまじでし)  
・教員、写真、写実を文や写真を使って、まとめてみよう。  
・一番伝えたい事実を文や写真を使って、まとめてみよう。  
★内堀さんからもらった写真を使って、教えてもらったことを文のようにまとめるのもいいですね。  
(れい) バラの写実  
井戸の水くみの写実  
フライドポテトの女の子と同じ年の子どもの写真  
子どもたちの笑顔の写真 など。  
② 自分の考えをまとめる  
・知った事実や、今までの学習で考えたことを整理し、文や写真を使って、まとめてみよう。  
★自分の考えがどう変わったかや、深めた考えなどをまとめてみよう。  
(れい) 「アフガニスタンの子どもの笑顔の理由」  
内堀さんに教えてもらった自分の考え  
心の豊かさは、なぜか？  
心の豊かさは、なぜか？  
★わたしたちは、心の豊かさがある？  
★アフガニスタンの人々から、教えてもらった大切なことって何？  
★わたしは、どんな人になりたい？そのために、今からできることは何？

5	スピーチをする 友達のスピーチを聞く 学習を振り返る	<p>《本時のめあて》</p> <p>発表の仕方を工夫したり、友達の発表を聞いて良い点を見つけよう</p> <p>① 学習した事を他学年に向けて発表</p> <p>② 友達の発表の良いところを話し合う</p> <p>上級生からアドバイスを受ける：ブレイクルームで、上級生と交流し意見交換をする。</p> <p>・発表のしかたについて（話す速さ、声の強弱、間の取り方や、資料の示し方など）</p> <p>・効果的な発表の仕方や発表内容について見直す。・友達の発表のよいところや上級生のアドバイスを基に、説明のしかたの工夫や分かりやすく伝えるために必要なところを改</p>	<p>上級生に向けての模擬発表会だったため、本番同様の緊張感の中での練習。</p> <p>中学生に「プレゼンテーションの留意点」や「スライド作りのポイント」など、ブレイクルームを活用し、アドバイスや励ましの言葉をもらい、縦割り学習の交流時間が持てた。</p> <p>発表を聞く観点を項目ごとにまとめたワークシートを用意し、「特に頑張りたい観点を発表会の目標として、意識して練習に取り組む姿勢が見られた。</p>	<p>中学生からのアドバイス： 効果的に伝えるために、要約手法の「話題提示」「話の中心を捉え内容を短くまとめる」 上記を押さえてスライド作成でできるよう徐々にプレゼンスキルも習得させたい。</p>	<p>スライドノートを元に、ここから、発表用のスライド作りに入り、デザインや色彩、アニメーションや図形など、アートセンスも発揮して、個性的なスライドを楽しく作っていた。友達同士で、操作の仕方や作り方の情報交換で「対話的」活動の場面も多く見られた。</p>
	家庭学習課題	<p>今までの学習の復習や発表の練習をする。</p>	<p>スライドにまとめる作業も、シェアスクリーン操作も回を重ねるごとに、どの子も上達してきた。</p>		<p>本番直前で、どの子も発表練習に時間をかけた様子。</p>

<p>6</p>	<p>自分の意見を効果的にわかりやすく相手に伝える工夫</p>	<p>《本時のめあて》アフガニスタンの子供達や世界の補習校の友達に自分の考えを伝えよう</p> <p>✓ 司会者による進行</p> <p>✓ 発表</p> <p>✓ 「振り返り」</p> <p>学んだことを事実と自分の考えに分けてまとめられていたか発表のしかたについて発表の目的が達成されたか確認する。</p>   	<p>「はっきりと大きな声で、相手に伝わるように話す」「緊張すると早口になるので、ゆっくり話す」など、自分で決めた目標を確認してから、発表に臨んだ為、自分で立てた目標に対する達成度を「振り返り」で自己評価できていた。</p>   	<p>機会があれば他州の補習校とライブオンライン授業で、発表会や意見交換会を実現してみたい。</p>	<p>「授業の学習内容を記録したスライドを活用し、シェアスクリーンで発表」、どの子も最後まで落ち着いて発表できていて大変良かった。</p>  
----------	---------------------------------	--	--	--	---



#### ◆単元を終えて

「ランドセルは海をこえて」の作者との交流会を実現できたのも、昨年3月からオンライン授業に移行できたため、まさに「海をこえて」日本や世界と教室が繋がる時代を迎え、新しい教育の可能性にワクワクします。

授業の主題となった作者の問いかけ「君はどうですか」に対して、子どもたちの多くは、「命」「家族」「将来」について、今まで深く考えた経験がなかったようです。全く考えたことがなかったという子も数名いました。この教材をきっかけに、家族で話し合ったり、クラスの友達の考えを知ったりして、改めて自分の「命」や「家族」「将来のこと」について話し合う機会となりました。アフガニスタンの子ども達の笑顔や輝くひとみから、「幸せってなんだろう」と、自ら深く、自分と「対話」する姿も見られました。「たくさんお金があること」「大きな家があること」が「幸せの条件」ではないことに気づき始めた子もいました。

オンライン授業では、学習内容や自分の考えをスライドに打ち込んで整理したり、各自のスライドを画面でシェアして発表したりして、「幸せ」に対する自分の意見の変化や、友達の気持ちの変容も共有しながら授業を進めていきました。

今年度は、限りある授業時数を有効に活用するために、国語の複数単元を重ねた統合カリキュラムを試行しました。「ランドセルは海をこえて」には、「ひとつの花」「思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」「新聞を作ろう」「パンフレットを読もう」「聞き取りメモの工夫」「お礼の気持ちを伝えよう」「要約するとき」「つなぎ言葉の働きを知ろう」と、9単元の目標を重ねました。また、道徳科「異文化・国際理解」や社会科の国際問題に関わるSDGsにも発展できる教材です。工夫次第で、一つの教材から教科横断型授業や単元統合型カリキュラムなど学習を拡げたり、重ねたり、まとめたりできるので、児童の実態に応じて、どの子も意欲を持って楽しく取り組める授業作りを模索していきたいと思います。